

こんにちは

日本共産党福生市議会議員

池田 公三です

No. 64 2018. 12. 17  
事務所 志茂 115 アイエスマンション 101号  
電話 042-530-0705  
ホームページ 池田公三 検索  
なんでも生活相談 第1火曜 午後7時



福生市の財政  
は値上げの  
必要なし

市政は  
市民の暮らしを守る  
最後の砦です

# 福生市手数料の値上げに反対します

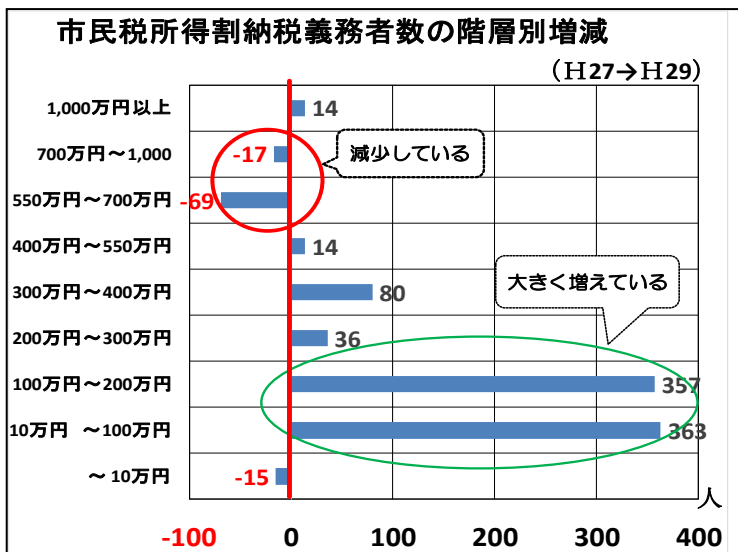
福生市長から 12 月議会に、右記のような手数料の引き上げ条例が提案されています。50%の値上げです。市の説明によると、平成 17 年以来、値上げしていない。各証明書発行に要するコストを計算した結果、いずれも 200 円を上回っており、「受益者負担適正化」の方針に基づき値上げしたいというのが理由です。

しかし、最もコストの高いコンビニ交付（1枚当たり 12,002 円ものコスト！）は利用を増やしたいので 200 円に据え置くという不公正さ！しかも、マイナンバーカードを所持している人（わずか 12%の市民）しか利用できないコンビニ交付を特別に安くするのは不公平ですし、「受益者負担適正化」にも矛盾します。

証明書	現行	改正案
印鑑登録証明	200 円	300 円
税務に関する証明	200 円	300 円
土地、建物に関する証明	200 円	300 円
死亡、死産、埋火葬に関する証明	200 円	300 円
住民票、戸籍の写しの照明	200 円	300 円
住民基本台帳の一部写しの閲覧	200 円	300 円
公募、公文書の謄抄本	200 円	300 円
上記をコンビニの端末機で取得	200 円	200 円

私は、総務文教委員会での審議で、市は値上げを検討する際に、平成 17 年以降、市民の生活状況がどう変わってきたかを把握したか質しました。市は、市民の生活実態の変化を把握することは困難と回答。私は、左記の表のように、この 3 年間を見ても、福生市民は低所得者が際立って増えており、貧困・格差が広がっていると指摘しました。

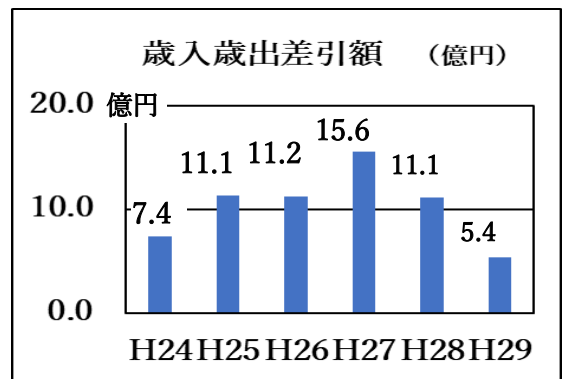
市民の生活状況とは無関係に、単に、「受益者負担」の考え方からコストに見合う負担を利用者に求めるのは間違いだと思います。事実、都内 26 市の中でも、値上げしていない自治体が 8 市もあるのです。



市は今回の値上げで 850 万円の増収を見込んでいます。

一方、福生市の財政状況は右図の通り、毎年巨額の黒字決算となっています。わずか 850 万円のために、今、市民の負担を増やす理由はありません。むしろ、市民のために必要なところにもっと支出し、地域にお金を循環させる工夫をすべきでしょう。

市民の多くは、「所得が上がらない」、「年金がまた引き下げられた」、「来年また消費税が上がる」…と、不安の中で暮らしています。そんな時に値上げをすれば、「福生市よ、おまえもか！」と、多くの市民を悲しませることになります。以上の理由から、日本共産党会派は、21 日の本会議で反対討論を行います。



日本共産党福生市委員会は池田公三さんの活動について発表しました

福生民報

発行 2018.年 12月  
日本共産党福生市委員会  
責任者 太田  
福生市志茂 115 101号室